



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社メタップス 上場取引所 東
 コード番号 6172 URL <https://www.metaps.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 祐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長 (氏名) 萩野矢 宏樹 TEL 03-5962-6450
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期 第2四半期	4,072	△3.5	415	—	437	—	307	—	267	—	245	—
2020年12月期 第2四半期	4,222	△15.9	△414	—	△559	—	△580	—	△531	—	△630	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期 第2四半期	19.68	17.87
2020年12月期 第2四半期	△39.11	△39.11

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期 第2四半期	19,328	6,011	5,898	30.5
2020年12月期	21,921	5,977	5,662	25.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末基準日における配当予想額は未定であります。

2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

2021年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、詳細につきましては、添付資料P.4「1. (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規一社（社名）、除外1社（社名）Metaps Entertainment Limited

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	13,566,910株	2020年12月期	13,566,910株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	62株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	13,566,881株	2020年12月期2Q	13,566,910株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P. 4「1.

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「テクノロジーでお金と経済のあり方を変える」のコーポレートミッションのもと、成長性の高いインターネット領域に経営資源を集中し事業を展開しております。当該領域は、スマートフォンやタブレット、ウェアラブル端末といったデバイスの普及に加え、Twitter、Facebook、Instagram、LINEなどのソーシャルメディアの拡大、クラウドや人工知能（AI）の進化、フィンテック、ブロックチェーンといった新しいテクノロジーやサービスの出現により劇的な変化を続けております。これらの市場規模は世界的にも一層の拡大が見込まれ、関連事業を提供する当社グループの収益機会も大きく広がるものと考えております。このような事業環境のもと、当社グループは、ファイナンス及びマーケティングを2つの事業の柱としながら、新たにDX支援事業を立ち上げ、SaaSサービスの展開や、ブロックチェーン技術を活用した新規サービスの開発を積極的に行っております。また2020年8月に中期経営計画「The Road To 2025」を策定し、決済を中心とするフィンテック領域、成長戦略の軸であるDX支援事業、中長期で着実な利益成長が可能なストック型ビジネスに重点的に投資することを決定いたしました。変化の大きい事業環境の中でも安定的な収益基盤を築き、社会のDX化とフィンテックの発展を推進し、当社のビジョンとミッションの実現を目指してまいります。

前連結会計年度から継続する新型コロナウイルス感染症の拡大は当社事業にも様々な影響を及ぼしました。特にファイナンス事業においては、旅行・ホテル関連やイベント関連決済の需要が大幅に減少し、その影響は当第2四半期連結累計期間においても継続しております。一方、感染症拡大を契機とした社会の変化は新たな顧客ニーズを開拓する機会と捉え、既存サービスの刷新を含め、積極的な事業展開を継続してまいります。

なお、第1四半期連結会計期間において、中期経営計画の実現に向けた事業ポートフォリオ見直しの一環として、中華圏事業における持株会社であるMetaps Entertainment Limitedの株式譲渡を完了し、関係会社株式売却益として435百万円を計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高4,072百万円（前年同期比3.5%減）、売上総利益2,058百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益415百万円（前年同期は営業損失414百万円）、税引前四半期利益437百万円（前年同期は税引前四半期損失559百万円）、四半期利益307百万円（前年同期は四半期損失580百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期利益267百万円（前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失531百万円）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を用いて比較しております。

報告セグメントの主な会社は、以下のとおりです。

セグメント名称	主な会社
ファイナンス	株式会社メタップスペイメント
マーケティング	株式会社メタップスワン
海外	<韓国> Metaps Plus Smartcon Co. Ltd.

① ファイナンス

法人企業向けの決済事業の他、成長著しいフィンテックの分野において、給与即時払いサービス「CRIA（クリア）」を中心とする信用ビジネスやスクール・定額制サービス向けの業務管理ツール「会費ペイ」などのパッケージ・ソリューションサービスを含め様々な新規サービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大・長期化する中、旅行代理店やホテル、イベント関連の決済代行サービスの一部において需要低迷が継続したものの、パッケージ・ソリューションサービスや信用ビジネスの成長も寄与し、事業全体は堅調に推移いたしました。

この結果、ファイナンスにおける売上高は1,051百万円（前年同期比33.5%増）、セグメント利益は303百万円（前年同期比123.0%増）となりました。

② マーケティング

国内法人企業向けにインターネット広告の運用をはじめ、データフィード等のテクノロジーを駆使した“データ×マーケティング”を軸とした包括的なマーケティング支援サービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、スマートフォン向けの広告が堅調に推移したことにより売上高が増加したものの、外出自粛や在宅勤務等の増加を背景に拡大したEC関連の広告需要が一巡したことにより利益は減少いたしました。

この結果、マーケティングにおける売上高は1,378百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は62百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

③ 海外

韓国において法人企業向けにモバイル商品券等のデジタルギフトの発行や販売等を展開しております。当第2四半期連結累計期間においては、デジタルギフト市場が拡大する中、安定的な成長を維持しております。暗号資産交換所事業からの撤退に伴い収益が改善、また、第1四半期連結会計期間において、中華圏事業の外部企業への株式譲渡が完了いたしました。

この結果、海外における売上高は1,336百万円（前年同期比27.0%減）、セグメント利益は75百万円（前年同期は46百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は19,328百万円となり、前連結会計年度末の資産合計21,921百万円と比べ2,593百万円減少しました。これは主に、営業債権及びその他の債権が1,186百万円、のれんが1,082百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は13,317百万円となり、前連結会計年度末の負債合計15,944百万円と比べ2,627百万円減少しました。これは主に、営業債務及びその他の債務が1,238百万円、社債及び借入金757百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は6,011百万円となり、前連結会計年度末の資本合計5,977百万円と比べ34百万円増加しました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益267百万円を計上した一方で、非支配持分が202百万円減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末6,648百万円に比べ596百万円増加し、7,244百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は181百万円（前年同期は208百万円の収入）となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務の増減額△1,039百万円、営業債権及びその他の債権の増減額787百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,591百万円（前年同期は64百万円の支出）となりました。これは主に、子会社の支配喪失による増減額1,405百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は891百万円（前年同期は1,808百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出760百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが取り組む事業の多くは、新規性が高く、その市場環境に多くの不確定要素を含んでおります。また、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況の中、当社グループの国内及び海外における事業の状況等を踏まえ、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、業績予想の開示を見合わせる決定をいたしました。今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年6月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,648	7,244
営業債権及びその他の債権	9,195	8,009
その他の金融資産	412	432
その他の流動資産	291	220
流動資産合計	16,546	15,905
非流動資産		
有形固定資産	437	141
のれん	2,258	1,176
顧客関連無形資産	196	71
その他の無形資産	346	205
持分法で会計処理されている投資	1,617	1,521
繰延税金資産	78	94
その他の金融資産	444	216
その他の非流動資産	0	0
非流動資産合計	5,376	3,423
資産合計	21,921	19,328

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年6月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	889	130
営業債務及びその他の債務	10,294	9,056
その他の金融負債	954	791
未払法人所得税	86	144
引当金	12	67
その他の流動負債	1,511	1,115
流動負債合計	13,746	11,303
非流動負債		
社債及び借入金	1,469	1,472
その他の金融負債	93	33
引当金	62	5
繰延税金負債	559	486
その他の非流動負債	15	17
非流動負債合計	2,197	2,014
負債合計	15,944	13,317
資本		
資本金	5,444	5,444
資本剰余金	5,649	5,649
その他の資本の構成要素	△358	△389
利益剰余金	△5,072	△4,805
自己株式	—	△0
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,662	5,898
非支配持分	315	113
資本合計	5,977	6,011
負債及び資本合計	21,921	19,328

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
売上高	4,222	4,072
売上原価	2,179	2,014
売上総利益	2,043	2,058
販売費及び一般管理費	2,180	2,002
その他の収益	76	552
その他の費用	268	97
持分法による投資損益 (△は損失)	△85	△96
営業利益 (△は損失)	△414	415
金融収益	2	38
金融費用	146	17
税引前四半期利益 (△は損失)	△559	437
法人所得税費用	21	130
四半期利益 (△は損失)	△580	307
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△531	267
非支配持分	△49	40
四半期利益 (△は損失)	△580	307
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△39.11	19.68
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△39.11	17.87

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
四半期利益 (△は損失)	△580	307
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない 項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	53	54
在外営業活動体の換算差額において純損益に振り 替えられた金額	△104	△115
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△51	△61
税引後その他の包括利益	△51	△61
四半期包括利益	△630	245
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△625	211
非支配持分	△6	35
四半期包括利益	△630	245

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				合計
	資本金	資本剰余金	新株予約権	その他の 包括利益 累計額	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日時点の残高	5,444	4,557	20	△138	△117
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△94	△94
四半期包括利益合計	—	—	—	△94	△94
新株予約権の失効	—	—	△20	—	△20
子会社の支配喪失による 増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引 自己株式の取得	—	1,633	—	—	—
その他	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,633	△20	—	△20
2020年6月30日時点の残高	5,444	6,190	0	△232	△231

親会社の所有者に帰属する持分

	利益剰余金	自己株式	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	2020年1月1日時点の残高	△4,984	—	4,899	△383
四半期利益	△531	—	△531	△49	△580
その他の包括利益	—	—	△94	43	△51
四半期包括利益合計	△531	—	△625	△6	△630
新株予約権の失効	20	—	—	—	—
子会社の支配喪失による 増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引 自己株式の取得	—	—	1,633	667	2,300
その他	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	20	—	1,633	667	2,300
2020年6月30日時点の残高	△5,495	—	5,908	278	6,186

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				合計
	資本金	資本剰余金	新株予約権	その他の 包括利益 累計額	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日時点の残高	5,444	5,649	0	△359	△358
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△56	△56
四半期包括利益合計	—	—	—	△56	△56
新株予約権の失効	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失による 増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引 自己株式の取得	—	—	—	—	—
その他	—	—	25	—	25
所有者との取引額合計	—	—	25	—	25
2021年6月30日時点の残高	5,444	5,649	26	△415	△389

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	利益剰余金	自己株式	合計		
	百万円	百万円	百万円		
2021年1月1日時点の残高	△5,072	—	5,662	315	5,977
四半期利益	267	—	267	40	307
その他の包括利益	—	—	△56	△5	△61
四半期包括利益合計	267	—	211	35	245
新株予約権の失効	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失による 増減	—	—	—	△237	△237
非支配株主との資本取引 自己株式の取得	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	△0	△0	—	△0
その他	—	—	25	—	25
所有者との取引額合計	—	△0	25	△237	△211
2021年6月30日時点の残高	△4,805	△0	5,898	113	6,011

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△559	437
減価償却費及び償却費	211	218
持分法による投資損益 (△は益)	85	96
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△675	787
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	951	△1,039
その他	271	△621
小計	284	△122
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△21	△14
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△58	△48
営業活動によるキャッシュ・フロー	208	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	△25	△61
無形資産の売却による収入	1	0
子会社の支配喪失による増減額 (△は減少)	△63	1,405
その他	22	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64	1,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	—
短期借入金の返済による支出	△459	△760
非支配持分への子会社持分売却による収入	2,300	—
割賦未払金の返済による支出	△9	△7
リース負債の返済による支出	△124	△117
その他	△0	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,808	△891
現金及び現金同等物の増減額	1,952	519
現金及び現金同等物の期首残高	4,683	6,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	77
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,602	7,244

- (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当第2四半期連結累計期間における法人所得税は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。また、当社および一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報)

(1) 一般情報

事業セグメントは、経営資源のセグメントへの配分と業績を評価するために、最高経営意思決定者に定期的に提出される内部報告に基づいて認識しております。

当社グループは、売上高の推移等の経済的特徴及び提供するサービス等の要素が概ね類似する各事業セグメントを集約し、「ファイナンス」「マーケティング」及び「海外」を報告セグメントとしております。

「ファイナンス」においては、法人企業向けの決済事業の他、成長著しいフィンテックの分野において、給与即時払いサービス「CRIA (クリア)」を中心とする信用ビジネスやスクール・定額制サービス向けの業務管理ツール「会費ペイ」などのパッケージ・ソリューションサービスを含め様々な新規サービスを展開しております。

「マーケティング」においては、国内外の法人企業向けにインターネット広告の運用をはじめ、データフィード等のテクノロジーを駆使した“データ×マーケティング”を軸とした包括的なマーケティング支援サービスを展開しております。

「海外」においては、韓国において法人企業向けにモバイル商品券等のデジタルギフトの発行や販売等を展開しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループのビジネス戦略に基づく経営資源の配分の強化を目的として、企業活動の実態に即したより適切な経営情報の開示を行うため、報告セグメントを見直しております。これに伴い、前連結会計年度において「マーケティング関連事業」及び「ファイナンス関連事業」に含めていた海外事業を「海外」として報告セグメントに追加しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(2) 報告セグメントの売上高及び利益

報告セグメントの会計方針は「3. 重要な会計方針」で参照している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメントの売上高、利益及び損失は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位：百万円)

	ファイナンス	マーケティング	海外	その他	調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	787	1,186	1,831	417	—	4,222
セグメント間の売上高	—	7	—	237	△245	—
合計	787	1,194	1,831	654	△245	4,222
セグメント利益 (△は損失)	136	100	△46	△412	△0	△222
その他の収益及び その他の費用						△192
金融収益及び金融費用						△144
税引前四半期利益 (△は損失)						△559

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	ファイナンス	マーケティング	海外	その他	調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,051	1,330	1,336	356	—	4,072
セグメント間の売上高	0	48	0	248	△296	—
合計	1,051	1,378	1,336	604	△296	4,072
セグメント利益(△は損失)	303	62	75	△480	△0	△40
その他の収益及び その他の費用						455
金融収益及び金融費用						22
税引前四半期利益 (△は損失)						437